

「サーマル記録技術（第8）部会」

寺尾@アルプスアルパイン（主査）

1. 研究会

2025年度の開催には間に合わず、2026年度の開催を目指す。前回の研究会で取り上げた基礎の講演は参考になったとともに、学術の観点でこういった研究会の場の提供が学会の役割として重要であることが示唆されたことから、次回の研究会でもサーマルの基礎の講演とともに、最新の技術動向や製品動向を含めて計画していく。

2. 部会

サーマル記録技術部会では、部会にあわせメンバーの所属する企業等の施設見学を兼ねた持ち回りの部会を実施しているが、2025年度はメールベースでの情報交換と本日の総会に合わせて部会開催。昨今の学会活動状況と次回研究会を議論。

3. 講習会、学会講演会 活動 トピックス

第88回日本画像学会技術講習会「画像技術の基礎と将来」にサーマル記録技術部会より講演参加。京セラの渡邊氏より「サーマルプリントヘッドの基礎と展開」のテーマで、サーマルプリントヘッド、及び記録技術の基礎から、その展開について紹介頂いた。

日本画像学会2025年度シンポジウム『Imaging Next Generation：技術の蓄積とAI共創の未来』にサーマル記録技術部会より講演参加。アルプスアルパインの川井氏より「フォトプリンタ市場と技術の動向～”見る”から”創る”へ多様化するプリント体験～」のテーマで、フォトプリンタ市場の最新トピックスについて紹介頂いた。

2025年11月7日、8日に、日本印刷会館にて開催されたIS&T主催のAdvances in Printing Technology 2025 国際会議にて講演参加。アルプスアルパインの高橋氏より「Development of metal decoration technology using on-demand thermal transfer printing」のテーマで熱転写方式のメタリック加飾印刷技術について、京セラの西田氏より「A New 12-inch, 1200dpi Thermal Printhead for Digital Decorative Film Printing」のテーマでデジタル加飾フィルム印刷用の新しい12inch、1200dpiサーマルプリントヘッドの開発について、大日本印刷の神谷氏より「Peripheral technologies for enhancing the print quality of the Ki-Re-i ID photo booth」のテーマで照明写真ブースの印刷品質向上のための周辺技術について、それぞれ最新動向を報告頂いた。

4.メンバー（R8/1/23現在）

ブラザー南氏が水谷氏と交代し人数は9名体制

寺尾博年@アルプスアルパイン（主査）

渡邊和宏@京セラ

椿 義徳@ソニー

眞島修@マジマ研究所

寺嶋尚久@富士フイルム

山本将也@ローム

太田光洋@大日本印刷

水谷俊介@ブラザー

大庭真人@東芝ホクト

以上